

日高の野菜・花き生育情報



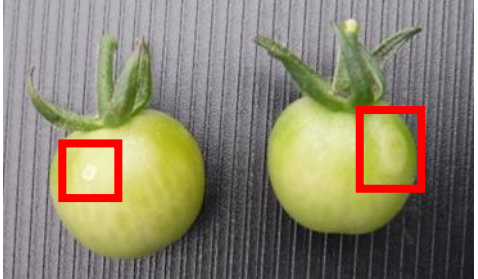
新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町
《6月中旬～7月上旬》



令和5年6月15日発行
第2号
日高農業改良普及センター本所
Tel：0146-42-1489
Fax：0146-42-2521

【作物共通】


- ① これからの時期は日中と夜間の温度差が大きいため、ハウスの管理は高温と低温対策の両方に留意しましょう。温度が急速に低下する時は、ハウス内の湿度が高まり病害発生要因となるため、モヤ抜き換気を行いましょ。
- ② 低温・多湿条件で発生しやすい病害の発生予察を行い、耕種的対策と合わせて適正な防除を行います。
- ③ ハウス内及びほ場周辺の雑草除去などほ場の衛生管理を徹底し、ハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類等の飛び込みを防止しましょう。
- ④ 除草剤散布は、使用基準を遵守し、隣接ほ場への飛散に注意しましょう。
- ⑤ 「セイヨウオオマルハナバチ」を導入する場合は、蜂が逃げ出さないように全てのハウス開口部にネットを展張し、外部との出入口の戸は二重以上にしましょう。ハウス内は17～30℃の範囲で温度管理を行い、温度が上がる場合は換気の徹底と遮光資材を活用しましょう。

【野菜】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
ピーマン 無加温半促成 品種：みおぎ	<ul style="list-style-type: none">・生育は7日程度遅い傾向です。花落ちや尻腐れ果の発生は前年より少ないですが、一部ほ場でみられています。・作業は主枝3～4節目の収穫、整枝が行われています。・着果数が増えて株への負担が大きくなる時期です。草姿や開花位置、花柱の様子を確認し、適切なかん水や追肥を実施しましょう。  <p>【尻腐れ果】</p>	<ul style="list-style-type: none">・気温の上昇でアブラムシ類、アザミウマ類の発生が増加する時期です。・斑点病対策は、6月上旬から薬剤散布による予防が効果的です。未実施のほ場を中心に、予防防除を徹底しましょう。  <p>【斑点病】</p>
ミニトマト 3月定植 品種：キャロル10	<ul style="list-style-type: none">・生育は概ね順調ですが、昼間と夜間の寒暖差が激しく、小玉傾向が見られています。・灰色かび病が一部ほ場で見られます。果実に付着した花卉は取り除き、薬剤散布をする場合は午前中に実施しましょう。・抑制栽培に向け、育苗管理が行われています。高温多湿を避けるため、かん水は晴天日の午前中に行いましょう。	<ul style="list-style-type: none">・アザミウマ類や灰色かび病により、果実に斑点が見られます。  <p>【アザミウマ類】</p>

<p>ミニトマト 3月定植 品種：キャロル10 (続き)</p>		 <p>【灰色かび病】</p>
<p>いちご 夏秋どり (高設栽培) 品種：すすあかね</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調です。 • 作業は摘葉、摘花、芽かき、ランナー除去、収穫が行われています。 • 果実肥大に伴い、株への負担が大きくなる時期です。葉数は25枚程度を確保し、弱小花の除去、着果制限等の管理を実施しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部ほ場でハダニ類の発生が見られます。 • 被害葉が多発するほ場では、殺ダニ剤散布に加え、気門封鎖剤の活用も検討しましょう。 • ハウス内へ飛び込み防止のため、周囲の雑草除去も検討しましょう。  <p>【ハダニ類の食害を受けた葉裏】</p>

【花 き】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
<p>デルフィニウム ハウス作型</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調です • 作業は順次、定植～採花が行われています。 • 気温が上がりやすい時期となっています。株が弱りやすいため、かん水は少量多回数管理を心がけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部でうどんこ病の発生が見られています。  <p>【うどんこ病】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 気温の上昇でアザミウマ類、ハダニ類など害虫が増えやすい時期ですので、予察・防除を徹底しましょう。

★農薬を使用する場合は、必ず使用基準を守りましょう★